

2 今年度の取組の成果

■重点目標（１）に対する取組

○客観的な指標(チェック表など)や多角的な視点(担・副担・関わる教員など複数の目)による実態把握を基にして目標や指導の手立てを設定し、指導に当たることで、生徒の実態に合った分かりやすい授業につながり、児童生徒が意欲的に自ら学習に取り組む姿が見られるようになりました。

○生活訓練施設を利用し実践に近い環境で学習をすることで、布団敷きや片付け、入浴、宿泊など生活に直結する能力が身に付いてきました。生活訓練施設を活用した体験的活動に繰り返し取り組み、生活動作を向上させることにつながりました。

○事前学習で映像を見ながら学び、実際にやってみることで、自信を持って学習に取り組む姿が見られるようになりました。事後学習では、自分の映像で学ぶことで深い学びにつながりました。

○児童生徒のできたこと、頑張ったこと、取り組む姿勢等を全体で共有することで、意欲の高まりを感じました。さらに自ら取り組む姿や笑顔、友達と認め合う姿が多く見られるようになりました。

○ICT教材や視覚教材を効果的に活用し、事前事後学習の充実を図ることで、児童の興味関心が高まりました。また、できた実感を持ち、主体性を持って活動に取り組む姿が見られるようになりました。

○タブレットを使って自ら検索し、検索した結果を授業に活用できる生徒が増えてきました。

■重点目標（２）に対する取組

○ヒヤリハット（事故につながりかねない事案）の情報を全職員で共有しています。事故が未然に防げるように取り組んできました。

○緊急時の対応マニュアルが整備され、個別のマニュアルも教員の手に届くところに置き、だれでも同じ対応をとれるようにできました。

○緊急時には、ハリーコール（緊急放送）を発令し、マニュアルに沿って迅速な対応をとることができました。

○火災避難訓練・地震避難訓練・水害対策を頻繁に行うことで、教員や児童生徒たちも自分で考え迅速に動くことができるようになりました。

○普段とは異なる様子が見られたときは、速やかに連絡、報告ができ、学部内で役割分担して組織的に対応することができました。

○その他、外部機関に協力いただきながら、水辺、SNS、交通事故、消費者トラブルなどの対策を行ってきました。

■重点目標（３）に対しての取組

○今年度から保護者アンケートやフリー参観を始めました。それにより保護者からのニーズを確認することができました。ニーズの中から学校の課題を見出し、その改善に取り組むことができました。その一例が、保護者向けの『教育相談』やフリー参観のときの『進路ブースの設置』です。多くの保護者に利用いただき、保護者と学校の連携強化につなげています。

○ホームページやInstagramで児童生徒の学習の様子を保護者や地域に向けて発信することができました。学部だよりやホームページ、Instagram、伸びゆく子供たちの作品展、地域で作品展示、交流学习など様々な方法で本校の教育活動を発信することができました。

○日常や保護者懇談時などで保護者の困り感などに耳を傾け、行政や福祉の協力のもと対応をしてきました。継続して対応することで、保護者からの信頼を得られるように、今後も取り組んでまいります。